

関連法令等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本国憲法</li> <li>○教育基本法</li> <li>○学校教育法</li> <li>○学習指導要領</li> <li>○都教委・区教委の教育目標</li> </ul>

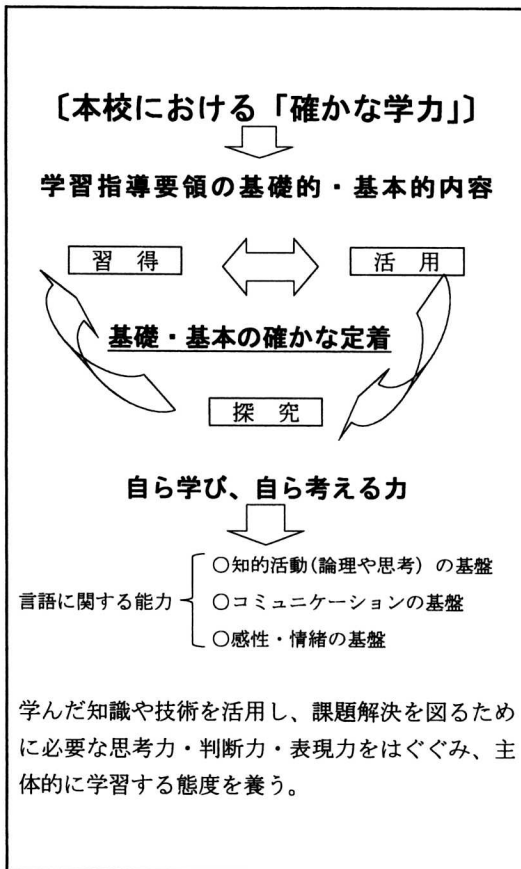
学校教育目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○やりぬく子</li> <li>○思いやりのある子</li> <li>◎よく考える子（重点目標）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校や地域の実態</li> <li>○保護者や地域の期待や願い</li> <li>○教職員の願い</li> </ul>
---

学校経営計画（学力向上にかかわる視点）  
**基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と活用力を育成する。**

**各教科の指導の重点**

- 学級経営を基盤にし確かな学力の育成を図る。
  - ・時間を守る ・学習の準備
  - ・話をしっかりと聞く
- 毎時間の授業を充実させ、「よく分かり、よくできる授業」を実施する。
  - ・週ごとの指導計画の活用（PCDA）
  - ・ねらいの明確化。
- 個に応じた指導の充実を図る。
  - ・算数科における習熟の程度に応じた学習
  - ・個別学習、グループ学習
  - ・体験的な学習により、五感を通し実感し、理解させる。
- 国語科と他教科等との関連を深め、言語環境を充実させ、コミュニケーション力を高める。



**道徳教育の指導の重点**

- 週1時間の道徳授業の充実を図る。
- 自分の特徴を知り、長所をのびす。
- やるべきことを、最後までやりぬこうとする態度を育てる。
- 人の気持ちや立場を理解し、誰に対しても公正・公平にふるまおうとする態度を育てる。
- 誰にでも親切に、温かく接しようとする態度を育てる。
- 生命の尊さを知り、自他ともに生命を尊重する気持ちを育てる。
- 自然のすばらしさを知り、自然環境を大切にすることを育てる。
- 社会の一員としての自覚をもって行動しようとする態度を育てる。

**特別活動の指導の重点**

- 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、生かす能力を育てる。

**外国語活動**

- 5、6年、年間35時間実施
- コミュニケーション力を高め、進んで交流する児童を育成する。

**総合的な学習の時間の指導の重点**

- 児童の実態に合わせ、それぞれの単元のねらい、内容を明確にし、指導を行う。また、各教科・領域と関連付けることにより学習の統合化を目指す。
- 家庭や地域の人々とのかわりの中から主体的で創造的な学習を展開できるようにする。

**進路指導の重点**

- 一人一人の児童が目標をもって生活し、目標達成に努めるとともに、自分のよさを発見し、そのよさを生活に生かせるよう指導を進める。
- 働くことの大切さや自分の生き方について考え、将来への夢と希望をもつようになる。

**生活指導の重点**

- あいさつと言葉遣いを年間の重点目標とする。
- 生活指導朝会、生活指導全体会等を通し、全教職員共通理解のもと、基本的な生活習慣を徹底する。
- 学校環境を整え、安全で安心できる学校生活づくりを推進する。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科における個に応じた指導を推進する。 1年（TTによる学習） 2年（少人数による学習） 3～6年（習熟制クラス編成）</li> <li>・話す、聞く、伝え合う等コミュニケーション力を高める。</li> <li>・地域の教育力を活用する。</li> <li>・夏季休業日に学力の補充のための学習教室を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事を精選し授業時数の確保をする。</li> <li>・基礎・基本の定着や補充を目指し、週3回朝学習の時間を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の研究成果を生かし、コミュニケーション力を高める指導の工夫を目指して組織的に取り組む。</li> <li>・授業研究を通し、授業力の向上を図る。</li> <li>・専門性の高い外部講師からの指導・助言を生かし、指導技術を高める。</li> <li>・OJTを実施し授業力向上等課題解決を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の評価規準を作成し、評価規準に基づく評価を行い、指導と評価の一体化を図る。</li> <li>・学校行事や授業公開後にアンケート調査を行い改善に活かす。</li> <li>・学校評議委員による評価を活用し教育課程の編成に活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより、ホームページ、保護者会等を活用し学校経営方針を周知する。</li> <li>・校内の水田や地域の畑を活用し、地域の農家の方の指導を受けながら自然体験を行う。</li> </ul>